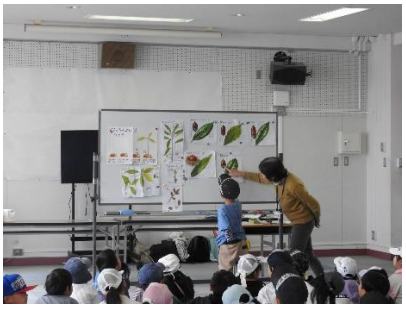
2025 年度宝塚市立光明小学校2年生自然体験学習報告（秋季編）
「生き物つながり探検隊」　～校庭で秋を見つけよう！！～

記録：樋口和久

日　　時	2025年12月 3日（水）9：20～12:10　　天候　くもり
場　　所	光明小学校　多目的室と校庭と教室
目　　的	１年生では校庭の生き物を観察し、様々な植物でお絵かきをしました。２年生の春に校庭の生き物地図を作りました。さあ、秋の校庭では、生き物はどんな様子をしているでしょう。校庭で秋を見つけましょう。 ・どんな実や種を付けているでしょう。 ・生き物同士どんなつながりを持っているでしょう。 ・ドングリにはいろいろな種類があることを知り、ドングリ図鑑を作ろう。
児　　童	1組　濵田先生　　児童37名（欠席1名）　他先生2名
MNC スタッフ	総括　髙橋美 小西・木茂・溝部・池田・石堂・髙山・吉田・仲谷・坂本・小山・樋口　（計12名）
スケジュール	9：00　MNCスタッフ4F多目的室集合　　9：20　児童初めのあいさつ 9：25　ドングリの話（小西）　　9：45　種子散布の話（高橋美） 10：00　校庭で秋を見つけよう！　　10：45　校庭での観察終了 11：10　ドングリ図鑑作り　　11：45 まとめ・児童感想発表　　12：10 終了・後片付け
ドングリの話 種子散布の話 （多目的室）	紅葉したツタの葉を、小西さんが子どもたちに見せて秋を感じてもらった。そして、カクト付きのマテバシイの実物を見せ、リスが種子散布を担うと説明した。22種類あるドングリから、今回作成する6種類のドングリや葉っぱ・カクトを見せて違いに気づかせた。 髙橋さんの種子散布は、5 種類の種子散布を自家作製の小道具で絵を見せながら進めていく。アリによる種子散布では、巣に持ち帰り残ったスミレの種子が、石の階段の隅で花が咲く話は、先生も驚いていた。そして、風や重力・水・自分ではじけるなどの工夫も知らせた。また、恐ろしい形をしたライオンゴロシ、ツノゴマの話には子どもたちは興味津々であった。
校庭探検	校庭では、1,2,3班と4,5,6,7班に分かれて校庭側とビオトープ側に分かれての観察スタート。校庭は樹木の剪定が進んでいて、葉も刈り込まれている状態でしたが、サクラの葉の紅葉、落葉、少し前に落ちたアラカシのドングリをみんなで集めて盛上っていた。フェンスに絡みついた、ノブドウのカラフルな実も興味を引いていた。カタバミの葉による10円玉磨き、剪定され葉も少ないモミジの前や、遊具に上がり少しでも高い処からスタッフに配られたモミジの種子飛ばしを試し楽しんでいた。みんな集めたアラカシのドングリを沢山帽子に入れていた。
ドングリ図鑑づくり （教室）	小西さんの声掛けで、配られたダンボールの紐通し、名前書きから始まった。そして、ドングリの名前シールを貼り終えて、アラカシが配られる。カクトと実を色々レイアウトして貼っていく。6種類のドングリを貼り終えると世界で一つのドングリ図鑑完成。
児童の感想	・ドングリで良いドングリ図鑑が作れた。　　・色々集められ作る時に手で持って行けた。 ・ドングリ図鑑の班のみんなで楽しく校庭をまわれた。 ・校庭では知らないことが有ったが知れたし、池田さんと話せて思い出になった。
所　　感	校庭の樹木は殆どが、短く剪定されて、全体像を見ることが出来ず残念。それでも子どもたちはドングリを集めたり、サクラの紅葉を観て、少しは秋を感じたかなと思いました。ドングリ図鑑作製もスムーズに行われて、予定通りの時間には終了できた。「ドングリの話」、「種子散布の話」ではスタッフの話に対する反応が早く頼もしさを感じさせられた。

カマキリの卵で生き物つながり



ドングリの話

種子散布　ライオンもマイッタ

カタバミの 10 円玉磨き

サクラの違った色の落葉

トウジュロのもじゃもじゃ皮（毛）

綿の花、実もあるよ

ノブドウの色違いの実(?_?)

帽子に沢山のドングリ

ドングリ図鑑作製スタート

整理された図鑑の材料

上手く貼り終えました